

HOSEIミュージアム 江戸東京研究センター特別展

法政大学

EToS

江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

〈人・場所・物語〉

— “Intangible” なもので継承する江戸東京のアイデンティティ



江



HOSEIミュージアム
4会場同時開催



2021.09.07_{|火|} - 10.03_{|日|}

一部の会場は 09.30_{|木|}まで

東



開館時間 | 10:00 - 17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日 | 月曜日 (09.20_{|月|}は開館)

入館料 | 無料

- ・緊急事態宣言発出期間中は 16時に閉館いたします (入館 15:30 まで)
- ・5名を超える団体での来場はご遠慮ください
- ・SiteA (九段北校舎 1階) からご覧いただくことをお勧めいたします
- ・SiteB・C・Dの入構口は外濠校舎 1階です

〈人・場所・物語〉

— “Intangible” なもので継承する江戸東京のアイデンティティ



現代の東京を、江戸との連続性を意識して考えること。その意義とは、過去から現代につながるものを探り、この都市を今のこの東京であらしめているものを認識することであり、その住人にとっては自己確認をすることでしょう。

法政大学江戸東京研究センターでは、文理の壁を越えてこの問題を追求してきました。江戸東京は、大火・水害・震災、そして戦災によって大きくその相貌を変容させ、さらに習慣化した建て替えのためにその変貌が続いています。そのなかでこの都市のアイデンティティを担保してきたのは、水流をはじめとする地形、地名、土地の物語や記憶、それをつなぐ人でした。大きな建造物ではない、小さなモノで構成される生活空間のありようも含め、“Intangible” な無形の遺産によって支えられてきた江戸東京らしさを考える展示です。

持続可能性を優先した定常型社会のありかた、それを支える価値観をここ江戸東京に探ろうと、私たちは考えています。



開催概要

EToS 特別展は Site_A, Site_B, Site_C, Site_D の4会場構成となっており、それらを巡ることで法政大学での新・江戸東京研究を体感して頂けます。

■会期

2021年9月7日(火)ー10月3日(日)
※ Site_B の会期は9月30日(木)まで

■会場

Site_A | ミュージアム・コア (法政大学九段北校舎1階)
Site_B | 博物館展示室 (法政大学ポアソナード・タワー14階)
Site_C | ミュージアム・サテライト (法政大学ポアソナード・タワー26階)
Site_D | ミュージアム・サテライト (法政大学外濠校舎6階)

■開館時間

10:00ー17:00(入館は16:30まで)

■休館日

月曜日(9/20は開館)

■入館料

無料



関連プログラム

シンポジウム『EToS がつくる新・江戸東京研究の世界』

■日時 | 2021年9月19日(日) 10:00ー17:00

SESSION 1 :
【都市をつくるのは誰か一定住者と流入者・来訪者、それぞれの役割とまなざし】
SESSION 2 :
【都市の表象文化「名所」から「聖地」へ】

■日時 | 2021年9月26日(日) 10:00ー17:00

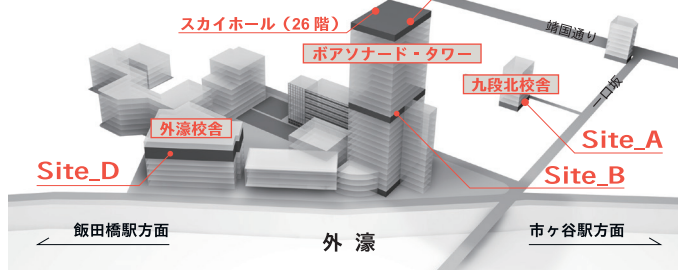
SESSION 3 :
【 commons を再生する東京 2021 】
SESSION 4 :
【 EToS の今後 江戸東京研究の可能性をさぐる 】

■会場 | スカイホール (法政大学ポアソナード・タワー26階)、オンライン配信



MUSEUM MAP

法政大学市ヶ谷キャンパス



交通案内

【JR】
総武線：
市ヶ谷駅または飯田橋駅(西口)下車徒歩10分

【地下鉄】
都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線：
市ヶ谷駅下車徒歩10分

都営大江戸線・東京メトロ東西線・有楽町線・南北線：
飯田橋駅下車徒歩12分

※HOSEIミュージアムには専用の駐車スペースがございません。公共交通機関をご利用ください。

全体コンセプト そのはじまりから未来へ

Site_A 〈水都〉江戸東京

ミュージアム・コア
(法政大学九段北校舎1階)

水辺は江戸東京の場所が持つ特性を語るうえで欠かせない対象です。江戸初期の湊に面した芝居町、江戸城内の水の能舞台、幕末の神田川沿いの仮設の舞台を建築模型とコンピュータグラフィックで復元します。

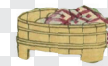


「弘化勸進能繪巻」復元模型

近世～近代

Site_B 水辺の営み・都市の記憶と物語

博物館展示室
(法政大学ポアソナード・タワー14階)
※ Site_B の会期は9月30日(木)まで



東京名所三十六戯撰

浮世絵の発達によって江戸東京はもっともさかんに表象された都市の1つとなりました。そこで描かれた水辺の景観を紹介しつつ、都市の歴史や由緒が人々の営みとともに記録・記憶され、語られてきたことを紹介します。

近代～現代

Site_C 現代の東京に息づく〈江戸東京〉

ミュージアム・サテライト
(法政大学ポアソナード・タワー26階)

僅かながらも地域の片隅や私たちの日常に残る、江戸東京の intangible な痕跡。様々な手法を用いた建物の記録やまちのフィールドワークなどの“今”の記録から探ります。



銭湯「月の湯」の日常

現代～未来

Site_D commons を再生する東京 2021

ミュージアム・サテライト
(法政大学外濠校舎6階)

建築家の実践による東京の commons (空間的資源) の現在を紹介し、学生の提案とともに未来について考えます。



下北線路街 BONUS TRACK (写真提供: ツバメアーキテツ)

HOSEIミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-3-5 九段北校舎1階
Tel | 03-3264-6501 Fax | 03-3264-6504

EToS 江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
Tel | 03-3264-9682 Fax | 03-3264-9884
Mail | edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp



HOSEI MUSEUM



EToS